

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です（加点ポイントは< >でくり、得点を○の中に記入）。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しよう！

I 10世紀から16世紀前半のエジプトのイスラーム王朝 (配点 20点)

- ※ 6行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 15行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上IIIも同)

<1 ファーティマ朝>

- ① エジプトはアッバース朝から自立していたこと…1点
※ 「(10世紀には) トゥールーン朝が存在していた」ことを述べても可
- ② ファーティマ朝が10世紀に建国されたこと…1点
※ 「ファーティマ朝が10世紀後半にエジプトにエジプト進出した」なども可
- ③ ②はシーア派の王朝であったこと…1点
- ④ ②は首都カイロを建設したこと…1点
- ⑤ ②の君主はカリフを称したこと…1点
- ⑥ ②はアッバース朝の権威を否定したこと…1点
- ⑦ ②はアズハル学院を設立したこと…1点

<2 アイユーブ朝>

- ① (ファーティマ朝の後に) アイユーブ朝が(12世紀後半に)建国されたこと…1点
- ② サラディン(サラフ=アッディーン)が①を建国したこと…1点
- ③ ①はスンナ派であったこと…1点
- ④ アイユーブ朝(サラディン)は十字軍からエルサレムを奪回したこと…1点
※ 「アイユーブ朝(サラディン)が第3回十字軍と戦った」ことを述べても可
- ⑤ エジプトが地中海とインド洋を結ぶ交易で繁栄したこと…1点
※ 「ファーティマ朝・アイユーブ朝・マムルーク朝」のどの王朝でも可(ただし、いくつ書いても1点)
※ 「地中海に進出」は不可
- ⑥ ⑤では香辛料(胡椒・香料・陶磁器・砂糖なども可)が扱われたこと…1点
- ⑦ ⑤で活躍した商人はカーリミー商人と呼ばれたこと…1点
- ⑧ カイロは(バグダードにかわって)イスラーム世界の中心都市となったこと…1点
※ 「ファーティマ朝・アイユーブ朝・マムルーク朝」のどの王朝でも可(ただし、いくつ書いても1点)
- ⑨ アイユーブ朝はエジプトにイクター制を導入したこと…1点

<3 マムルーク朝>

- ① (アイユーブ朝の後に) マムルーク朝が(13世紀半ばに)建国されたこと…1点
- ② ①はアイユーブ朝のマムルークが建国したこと…1点
- ③ ①はスンナ派であったこと…1点

- ④ ①はモンゴル軍を撃退したこと…1点
- ⑤ ①は十字軍の最後の根拠地（アッコン）を陥落させたこと…1点
 ※「第6回十字軍を撃退した」ことを述べても可
- ⑥ ①はアッバース家のカリフを擁立したこと…1点
 ※「メッカ・メディナを保護下に置いた」「イスラーム世界の中心（盟主）になった」ことを述べても可
- ⑦ ①はペストの流行で人口が激減したこと…1点
 ※「マムルーク軍団内部の抗争で弱体化した」ことを述べても可
- ⑧ ①はインド航路の発見により経済的打撃を受けたこと…1点
- ⑨ ①は（16世紀前半に）オスマン帝国に滅ぼされたこと…1点

<4 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右下欄外に、「12+R 1=13」などと記している。IIIも同)

- ① <1>・<2>・<3>の順に記されていること…R1点
- ② 対外関係がそれぞれ明記されていること…R1点

II A 殷・周から秦の全国統一 B 19世紀後半の清 (配点 30点)

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 音引きの有無や位置が違うものは不可
- ※ 空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容 (以上IVも同)

A

(2) 亀甲文字 可

(3) 禅讓 不可

(7) 1点満点

- ① 血縁を超えた無差別の愛（兼愛）、または絶対的平和（非攻）…1点

(9)(ア) 公孫鞅 可

(10) 2点満点

- ① 全土を郡に分け、郡の下に県を設けたこと…1点
 ※「郡」と「県」の両方がなければ加点しない
- ② 郡・県を中央から派遣された官吏が統治したこと…1点

B

(12) 地丁銀 可

(16) ウラジヴォストック, ウラジオストックなど 可

(19) 穆宗 可

(24) ジョン=ヘイ 國務長官, ヘイ 可

Ⅳ イギリス・フランスによる東南アジアの植民地化 (配点 20点)

※<1>・<2>・<3>について、順番は問わない。

<1 イギリスによる植民地化>

ビルマ (ミャンマー)

- ① イギリスは、東南アジアから中国への貿易活動の拡大をねらったこと…1点
- ② ビルマ (ミャンマー) にはコンバウン朝が存在したこと…1点
- ③ イギリスがコンバウン朝をビルマ戦争で破ったこと…1点
- ④ イギリスはインドにインド帝国を築いていたこと…1点
- ⑤ ③の結果、コンバウン朝 (ビルマ) をインド帝国に組み込んだこと…1点

マレー半島

- ⑥ オランダとイギリス＝オランダ協定を結んだこと…1点
※「協定によりオランダにジャワを返還した」は加点しない (大陸部の事項ではないため)
- ⑦ ⑥でマラッカ海峡を境界とする支配権の分割を取り決めたこと…1点
- ⑧ 海峡植民地を形成したこと…1点
- ⑨ ⑧はペナン・マラッカ・シンガポールから構成されていること…1点
- ⑩ マレー連合州を成立させたこと…1点
- ⑪ ⑩は、領域的支配であったこと…1点
- ⑫ ⑩の目的は、資源 (錫・ゴムなど) の獲得であったこと…1点

<2 フランスによる植民地化>

ベトナム・カンボジア・ラオス

- ① ベトナムには阮朝 (越南国) が存在したこと…1点
- ② フランスが阮朝を保護国化したこと…1点
※「ユエ条約」に言及していても可
- ③ 阮朝の宗主国が清 (中国) であったこと…1点
- ④ 中国とフランスの間で清仏戦争が勃発したこと…1点
- ⑤ 清仏戦争の結果、天津条約が結ばれたこと…1点
- ⑥ ⑤の結果、清がベトナムの宗主権を放棄したこと…1点
- ⑦ フランスはカンボジアを保護国としていたこと…1点
- ⑧ フランス領インドシナ連邦を成立させたこと…1点
- ⑨ ⑧には、のちにラオスも編入されたこと…1点

<3 緩衝地帯としてのタイ>

- ① タイにはラタナコーシン (チャクリ) 朝が存在したこと…1点
- ② ①はヨーロッパに対して閉鎖的な政策をとっていたこと…1点
- ③ ラーマ4世 (モンクット) が近代化政策や勢力均衡策を進めたこと…1点
- ④ ③はイギリスと不平等条約 (ポーリング条約) を結んだこと…1点
- ⑤ ラーマ5世 (チュラロンコン) が近代化政策 (チャクリ改革) や勢力均衡策を進めたこと…1点
- ⑥ タイは独立を維持したこと…1点

<4 論理構成点>

- ① <1>・<2>・<3>がバランスよく記されていること (<3>は少な目で可) …R1点

- ② イギリス・フランスが植民地にした地域がすべて明記されていること…R1点
 イギリス：ビルマ・マレー半島（ペナン・マラッカ・シンガポールのいずれか1つでも可）
 フランス：ベトナム・カンボジア・ラオス

IV A 宗教戦争からウェストファリア体制の成立

B 19世紀から20世紀のラテンアメリカ (配点 30点)

A

- a ウィッテンベルクなど 可
- (2) ハプスブルク＝ヴァロワ戦争 不可……問題文に両家の名前が記載されているため
- (3) ジョヴァンニ＝デ＝メディチ 不可……教皇に即位してからの名前が問われているため
- (4) ジョン＝ウィクリフ 可
- (5) アウクスブルクの宗教和議, アウクスブルクの宗教平和令など 可
- (6) オランニエ公ウィレム, ウィレム1世など 可
- (8) **2点満点**
- ① ベーメン（ボヘミア）に新教徒（プロテスタント）が多かったこと…1点
 ※（結果として「ベーメン（ボヘミア）の新教徒が反乱を起こした」ことを述べても可
- ② ベーメンで旧教（カトリック）が強制（新教が弾圧）されたこと…1点
- (9)(ア) スウェーデン王国など 可
- (イ) カルヴァン主義, カルヴィニズム 可
- (10) 『戦争と平和の法に関する三巻』など 可

B

- d クレオールなど 可
- e ハイチ共和国, ハイティ 可
- f ホセ＝デ＝サン＝マルティン 可
 マルティンのみ 不可
- g シモン＝ボリーバルなど 可
- h フィリピン（第三）共和国 可
- (11) エンコミエンダ 可
- (12) フランシスコ＝デ＝ゴヤ 可
- (13) ブラジル帝国 可
 ブラジル王国, ブラジル（連邦）共和国 不可
- (14) **2点満点**
- ① 生産していた商品：コーヒー・サトウキビ（砂糖）・牛肉・バナナ・硝石・カカオ・銅など
 …いくつ書いても1点
- ② モノカルチャー経済であったこと…1点
- (17) プラット修正（条項） 可
- (18) パチスタ, バティスタ＝イ＝サルディバルなど 可

以上